



2022年7月11日

各位

スパークス・グループ株式会社  
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平  
(コード8739 東証プライム市場)

**「未来創生 3 号ファンド」**  
**ゲノムおよび生体情報解析のトータルソリューション Chrovis を開発、サービス提供を行う**  
**株式会社テックへの投資実行**  
—がんゲノム医療の社会実装を情報技術で推進—

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2021年10月に設立した「未来創生 3 号ファンド」が、ゲノム情報解析から臨床的意義づけであるアノテーション、患者へのレポートと一気通貫にソリューションを提供する Chrovis の開発・運用を行う株式会社テック（本社：東京都文京区、代表取締役 西村邦裕。）に対する投資（金額は非公開）を実行しましたので、お知らせいたします。同社は今回の調達資金を活用し、Chrovis の機能・サービス拡張、およびその体制を実現するための人材拡充を行います。

■投資先企業の概要

テック社は、一人一人の患者に適切な治療が提供される社会を目指し、情報技術を用いてゲノム医療の社会実装に貢献してきたゲノム医療解析・バイオインフォマティクスに特化した東京大学発ベンチャーです。テック社が開発した Chrovis は、がんの診断・治療・予防や最先端の研究開発等のためのゲノム情報解析を可能にしました。さらに、がん遺伝子パネル検査における、解析結果への臨床的意義づけ、データ収集・結果の解釈・レポート作成を自動化するトータルソリューションを提供してきました。今後、がんゲノム医療関連市場拡大に伴い、Chrovis の機能・サービス拡張を行ってまいります。

■「未来創生（1号）ファンド」、「未来創生 2 号ファンド」および「未来創生 3 号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約135億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。最終的には、上記3社を加えた計20社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技术を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約50社に投資しました。2018年下半期には、既存投資領域3分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生2号ファンドの運用を開始しました。そして、2021年10月から未来創生2号ファンドの5分野に加えて、「カーボンニュートラル」を投資対象とし、スパークスの子会社であるスパークス・アセット・マネジメント株式会社をファンド運営者とした未来創生3号ファンドの運用を開始しました。2022年6月末時点の運用資産残高は、1号、2号および3号をあわせて、1,511億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>



- 本件に関するお問い合わせ先  
スパークス・グループ株式会社 広報室  
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101  
[pr\\_media@sparxgroup.com](mailto:pr_media@sparxgroup.com)